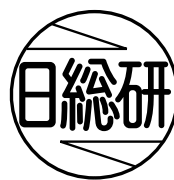




VF・VE検査／専門的な嚥下訓練に頼らなくても実践できる



# 認知症・脳血管障害の 摂食嚥下障害への 残存機能を生かしたアプローチ

**リニューアル**

※講義時間：約4時間

## リニューアルのポイント

セミナー聴講者よりいただいた下記の声を反映し、再収録しました。

- 姿勢／認知症の人の評価／食事形態の選定
- 何をしても改善しないケース
- 誤嚥を繰り返すケース
- どうしても食べてもらえないケース
- 臨床で行き詰るケース

**岩山和史氏** フリーランス 歯科医師

(日本老年歯科医学会認定・摂食機能療法専門歯科医師)

2003年大阪歯科大学卒業／2007年同大学院修了、博士(歯学)を取得／病院、施設、在宅の現場で、摂食嚥下診療やNSTに従事／日本老年歯科医学会認定医・摂食機能療法専門歯科医師／日本摂食嚥下リハビリテーション認定士／大阪歯科大学大学院講師(非常勤)

録画配信  
オンライン

[配信開始日]

21年 **4/27 (火) ~ 5/11 (火)**

※申込締切:21年4/22(木) ※4/15以降は代金引き換えでの教材発送となります。

参加料 一般 **13,000円** 会員 **10,000円**  
税込

※本セミナーは、講義時間約4時間の録画配信(オンデマンド)です。  
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

## プログラム

1. 食べるための3つの機能  
～5期モデルを使わずシンプルに解説～  
①口の機能 ②認知機能 ③のどの機能
2. このような方には要注意～3つの危険なサイン～  
①舌の汚れ ②溜め込み ③ムセ・痰がらみ
3. 見る、聞く、考える、3つのカンタン評価法  
①口の評価 ②認知の評価 ③のどの評価  
※頸部聴診の実技体験をしていただけます。水分、ゼリー、固形物(おかき)などをご用意いただき、視聴ください。また、聴診器をお持ちの方はご用意ください。
4. 摂食嚥下障害のホントの原因  
実は加齢変化は関係ない!?  
2大原因(認知症・脳血管疾患)の理解と疾患別の特徴
5. リハビリテーション～残存機能を引き出すアプローチ～  
●口へのアプローチ(食事調整の原則など)  
●認知機能へのアプローチ(食事ケアによるかわり方)  
●のどへのアプローチ(姿勢調整のコツなど)  
●疾患別のアプローチ、義歯についての考え方  
【症例提示・症例検討】
6. 経口摂取の限界についていつまで経口摂取を頑張るべきか!? 栄養サポートの考え方
7. 質問 配信期間中にメールで受け付けます。  
講師に確認のうえご質問者にメールで回答いたします。

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 149680 [検索](#)

関連雑誌 **隔月刊誌(定期刊行物・会員制)**

現場で即、使える! 後輩指導にも役立つ!

## 重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

2-3月号以降の特集

- 「細胞レベルのアセスメント」の第一歩!  
酸素需給バランスのモニタリング[2-3月号]
- どんな備えが必要? 発生時の初期対応は? ICUに求められる災害対策[4-5月号]
- 根拠がわかる! 変わりつつある今どきの輸液療法・輸液管理  
—負荷すべき? 絞るべき?—[6-7月号]

16年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

## 社会福祉士養成所通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士 [検索](#)

日総研 **接遇大賞** 優れたサービス  
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 [検索](#)

お問合せ TEL: **0120-054977** URL: **www.nissoken.com** 日総研 [検索](#)